

ゆきあそび

R2.11.30 ほろむい認定こども園とことん

一度、たくさん積もった後には、少し積もったりとけたりを繰り返している中、こどもたちのあそびは更に面白くなっています！気温による“水”の変化を、小学校の理科の授業を待たず、すでに「感覚」として体感中!!

活動のねらい

- ・季節の変化や物の性質を五感を使って体感していく。
- ・気温やあそびに適した服装を考えようとする。また、それによってあそびを自分で選択する。



重たくはったあとは、
みんなでもタペタミニ

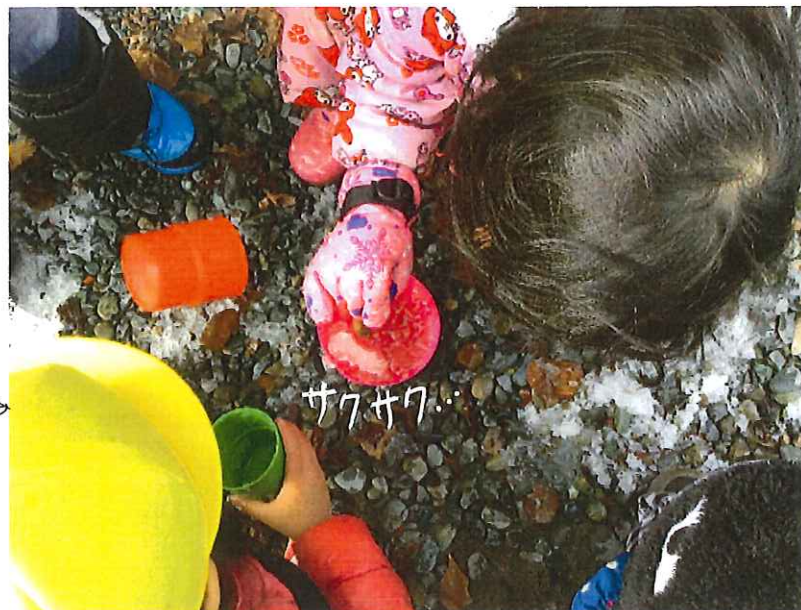


集めて、キリに並べて...

ベタ雪の方が作りやすい
ゆきでるま。
背比べ中??



雪を集めて、
カップに入れて。
何を作っているのか??



サクサク



選が抜いた一枚が
↑
一面の氷の中から

こどもたちが自分で考え、自分で選択する。主体性が育つための大切な行程だと考えています。

少しでも選択肢が増えるよう、「やりたい」を実現できるように、私たちも日々試行錯誤中です。その中でも服装の部分について、夏に引き続きご協力いただけると嬉しいです。

汚れてもよい防寒できるもの

ジャンパーやウインドブレーカー、長靴、手袋、長袖、長ズボン

(小さくなくても着ない予定のものや比較的安価な毛糸の手袋等、どろどろになってもかまわないものだと、気兼ねなくあそび込めます)



板状の雪も発見!!

「今日の服は汚したくないから、違うものに替えて行く」
「座ってあそばないから、下のジャンパーは着ていかない」
「ジャンパーだけだと寒いから、中の服をもう1枚着ていく」
「今日は手袋持って来てないから中であそぶ」

こどもたちが上記のように自分で考え、選択していく力が育まれるよう、考え方のポイントを伝えていきます。

例) ジャンパー着ていくと寒い気にならないであそべると思うな など



もしあれば、お外あそびを選択しやすくなります。根雪になった時の服装については、入園のしおりの「とことんベストセレクション」を参考にして頂けたらと思います。(再度おしらせする予定です)